佳ちゃんの部屋vol.9
〜いつも笑顔の高橋さん〜

佳ちゃんの部屋へようこそ。今回はいつもニコニコ笑顔を絶やさない高橋さんです！でもお酒が大好き過ぎたり、昔は恐れられていた歴史もあったりと、意外な一面もあり……。今回は大学時代の話や、仕事に対する姿勢などをお聞きしました！

名前：高橋鶴樹
あだ名：たずき、たず
出身：東京都

学生時代

——大学は早稲田の何学部だったの？

スポーツ科学です。テーピングの巻き方から球団経営についてまで、幅広い講義がありました。他にもサッカーの戦術論の授業でイタリアの代表チームの分析をしたり。スポーツ推薦で入学する人たちも行く学部ですね。

——サークルは？

バドミントンサークルでした。ラケット・バッティング研究ゼミというゼミに入るほどバドミントンにハマって、最終的にはUBFという関東バドミントンサークルの大会（団体戦）で優勝できました。

最近のこと

——趣味は？

サウナですかね。一時期は出勤前に週5で行ってました。恵比寿の交差点の近くにあるんです。今はパーソナルジムに週2で通ってます！それ以外の日は鍼と整体を隔週で、1週間に1回ずつ。以前1ヶ月だけ「ビート」という心拍数を上げるのを目的としたジムに行ったことがあるんですけど、それはかなりしんどかったです。

——直したい癖や習慣は？

お酒を飲むペースが早いことです。緊張から常に口を潤しておきたくなり、ついついペースが速くなってしまいます。飲み会で見かけたらそっとお茶を渡してください……。

実は...

——ノットに入る前は「恐れられていた」……そういえばそうだったね！歯科クリニックにいた頃。

超ドライでしたね。当時は500〜600人くらい社員がいたのですが、社員の採用は全員僕がやっていたので全員知っていました。上からの命令で自分が各店舗に行くことが多かったのですが、店舗では「高橋さんに呼び出されたら首が飛ぶ」って噂されていたみたいです（笑）

でもその後しばらくして、谷川社長にそのやり方は違うよって言われました。すぐ人を辞めさせるんじゃなくて、人を生かす道を考えることに頭を使うのが自分たちの仕事じゃないの？って。そういう風に働けるなら、それは理想だなと。数字を追いかけて人から嫌われるような働き方をするよりは、時間がかかるかもしれないけどその人の可能性を信じて、その人が輝けるところを見つけられた方がお互いにウィンウィンだなと分かり、そこから採用に対する考えが変わりました。

仕事のこと

——自分にとって“仕事”とは？

不思議なものですね。一緒に働く同僚とはプライベートでの親しさとは違う関係性だけど、同じ目標に向かって一丸となったり、いまだにどういうものなのか掴めていません。会社に貢献しながら見つけていきたいです。

——これまで印象に残っている仕事は？

前職の美容クリニック時代に人材紹介会社を立ち上げたことです。採用においては、国家資格の看護師でも応募内定率8.9%と非常にシビアな会社でした。（ノットは数十倍厳しいです、皆さん自信を持ちましょう！）毎回面接をしながら不採用にする約90%をもったいないなあと感じていました。そこで人材紹介会社として他社に売ることを社長に提案し、実際に会社を作りました。（言い方悪くてすいません）現場でない立場でも売上に貢献できたことが嬉しくて、印象に残ってます。

爽やかな笑顔からは想像できないような、過去にはシビアな一面があったことに驚いた方もいるのでは？学生時代のお話から、普段は明るい高橋さんの、仕事に対する真剣な姿勢を見せていただきました！

次回はプランニング部の伊藤さんです！お楽しみに。